



令和2年度 地方創生に資する金融機関等の 「特徴的な取組事例」として4年連続で大臣表彰を受賞

2021年3月31日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が運営する「令和2年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定され、4年連続で、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受賞しましたので、お知らせします。

1. 背景

当社は、2016年に「地方創生プロジェクト」を立ち上げ、地域の「まち・ひと・しごと」に係る課題解決に役立つメニューを提供することにより、地方公共団体や地域金融機関等の地方創生取り組みの支援を開始しました（2021年2月末時点で全国327の地方公共団体と連携協定を締結・内諾し、累計1,462の支援を実施）。

近年、我が国では、地震や台風、豪雨などの自然災害が全国各地で頻発しており、被災後の早期かつ的確な復興への対策や、平時からの自然災害リスクを踏まえた「まちづくり」が重要な地方創生課題となっています。

課題解決に向け様々な取り組みが行われている中、民間企業のBCPについては、有効性や策定の必要性が指摘されながらも策定率は低水準であり、地方公共団体では企業のBCP策定を推進する動きが高まっています。当社では、従来からBCPの策定支援に注力しており、地域の防災力強化に向けて、当社のノウハウを活用した取り組みを強化しておりました。

2. 概要

今般、「令和2年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に、当社の「地域防災力の強化を支援し、安心して暮らすことができるまちづくりに貢献」の取り組みが認定され、3月30日に大臣表彰を受賞しました。平成29年度から4年連続での受賞となります。

具体的な取り組み内容については次のとおりです。

- (1) 地方公共団体や商工団体と協働し、地震・水災・感染症BCPセミナーや訓練・体験を開催
 - ・地震や水災に対応したBCPの策定・見直し時のポイントを解説するセミナーや、策定したBCPの有効性確保のための訓練・体験を全国各地域で開催。
 - また、感染症リスクに焦点を当てたBCPセミナーを実施。
- (2) 高齢者介護施設を対象として、地震・水災BCP策定研修会を開催
 - ・近年の台風による甚大な被害例から対策が急務とされる高齢者介護施設を対象として、「地震・水災BCP策定研修会」を開催。施設の実態に応じた被災時の具体的な対応手順や入居者の人的被害防止のための避難確保計画等を盛り込む等、より実践的なプログラムを提供
- (3) 避難所設営・運営診断サービスを提供
 - ・コロナ禍における地方公共団体のニーズを広く聴取し、避難所の設営や運営について診断を行うサービスを開発し提供

3. 今後

行動指針に掲げる「地域密着」を具体化するために、「地域防災力」の強化支援に向けた取り組み、及び全国の地方創生取り組みを積極的に支援し、地域社会や地域企業に貢献していきます。

本件内容につきましては、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部のお知らせもご参照下さい。

◆「令和2年度 地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果～地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』～」を公表しました（令和2年3月30日） <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/>

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

